



篠原小学校「学校だより」

令和8年6月8日

しのささっ子



5月29日(金)に「ぐんぐんスポーツ大会」を実施しました。昨年度と同様に、児童が自らつくり上げることを大切にし、練習の時から「粘り強く取り組む」「自他の良さを見付ける」「進んで取り組む」という3つの力を意識して取り組みました。

1年生は「チェッコリ玉入れ」を行いました。各クラスで、「気合いの言葉」と、曲の終わりのポーズを考えました。当日は力強い声が響き渡り、ポーズもかっこよく決まりました。本番では、どの子も自信を持ってのびのびと踊る姿が見られました。

2年生は、実行委員を立て、めあてを決め、主体的に練習に取り組みました。表現運動の曲の中盤では、学級目標に合わせた振り付けをクラスごとに工夫しました。本番では、元気いっぱいの声を出しながら、笑顔輝くダンスを見せました。

3年生のダンスでは、ダンスリーダーを中心にクラスみんなで振り付けを決めました。実行委員を中心に話し合いを重ね、朝の会を使って自主的に練習したり、徒競走を男女別に行ったりと、自分たちで大会を盛り上げようとする姿がすてきでした。

4年生は、みんなの意見を出し合ってスローガンや表現運動を決めました。初めて「上級生」として迎える行事だったため、開閉会式や2年生とのペア活動の準備もがんばりました。事前に交流イベントを開いて仲良くなったおかげで、当日は2年生と息を合わせて「でかパン競争」を大成功させました。

5年生は、実行委員を中心にスローガンや種目を決めました。「ぐんぐんスポーツ大会を自分たちの手で創ろう」という高学年らしい意識が感じられました。表現運動では、仲間と力を合わせて技を磨き、苦手な技にも進んで挑戦する姿が見られました。当日は、それぞれのめあてに向かって、練習の成果をしっかりと発揮することができました。

6年生は、一人ひとりの思いを、スローガンに込めました。種目決めでもその思いを大切に、みんなで協力できるように「全員リレー」を選び、走る距離を自分で選択できるよう2つのコースを用意しました。また、ペア種目では、下級生への思いやりから「綱引き」を選択しました。フラッグを使った表現運動では、見ている人の心に届くような曲を選び、クラスごとの振り付けを工夫して、最高学年としての素晴らしい姿を見せました。

本年度も、全校児童が集まる「全体発表」の時間を設けました。この場があったことで、子どもたちは他学年の頑張りや良さを互いに見付け合うことができました。また、自分たちの演技を振り返り、「もっと良くするにはどうしたらいいか」を自分たちで考える良いきっかけにもなりました。各学年がスローガンを意識し、達成に向けて頑張ったぐんぐんスポーツ大会は、「しのささっこ」が大きく成長するきっかけになったと思います。今回の経験を糧に、これからの学校生活でもさらなる活躍を期待しています。

文責 体育主任 高橋 嘉一郎

